

豊 能 町 教 育 大 綱

～「教育力・日本一」をめざして～

■基本理念

グローバル化や高度情報化・少子化により、社会情勢の変化が加速していく中、これからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を育む教育が重要となっています。

こうした中で、豊能の子どもたちに、自ら未来を切り拓いて生き抜くための力を培う教育を創造していくため、保幼小中学校で切れ目のない一貫した教育のもとで、豊能町の特性を活かした、より充実した教育の実践が求められています。

また、同時に町民が生き生きと暮らすため、地域の特性や特色ある文化のもと生涯学習の充実を図ることも大切なことです。

そこで、下記の5点を基本方針とし、「教育力・日本一」をめざします。

① 未来を切り拓く豊かな心とたくましい体を育む「教育力・日本一」の推進

自分も周りの人もかけがえのない存在であることを自覚し、豊かな心と思いやりのある子どもを育成するとともに、未来を切り拓くことのできる気力と体力を備えた子どもの育成を図り、「教育力・日本一」をめざします。

② 21世紀を生き抜く確かな学力の育成と推進

子どもが達成感を味わえる授業を行い、基礎的・基本的な知識・技能と、それらを活用して問題解決を図るための思考力・判断力・表現力を身に付け、自ら学ぶ意欲を持った21世紀を生き抜く子どもの育成を推進します。

③ 家庭・地域・学校の連携で支える教育のまちづくりの推進

子どもが健やかに成長し、充実した学習が行えるよう、家庭・地域・学校の連携で支える教育のまちづくりを推進します。

④ 地域の特性を活かした文化・スポーツの振興

町民一人ひとりが、豊かな生活を送るため、あらゆる機会に学習ができるよう、次の3点について生涯学習を推進します。

- ①歴史的風土、地域特性を活かした文化の育成・振興
- ②スポーツに親しみ、明るく豊かで活力に満ちた生活の実現
- ③豊かな心と身体を持つ人間として成長できるような青少年の健全育成

⑤ 保幼小中一貫教育の推進と望ましい教育環境の検討

0歳から15歳まで見通した保幼小中一貫教育を積極的に推進します。

さらに、児童・生徒の減少を踏まえつつ、子どもの育ちを重視し、同時に適正な教育環境のあり方や再配置について検討します。

別紙(平成29年度の主な予定事業)

事業名	事業概要
子どもの読書活動推進事業	「本のソムリエ」プロジェクトのさらなる推進と読書啓発イベントの活性化を図る。また、多くの子どもたちが参加できるように各教育機関の図書の実質を図る。
学力向上事業	学力向上の推進を行う。また、公民館を活用し「中学生まなび舎教室」を開き、生徒が主体的に学ぶ場と機会の提供と支援を行う。また授業力向上、小中連携推進のための各学校の研究支援を行う。道徳の教科化に向けて適正に教科書採択を行う。
体力向上推進事業	全国体力・運動能力調査の結果分析等により課題を明らかにし、体力向上アクションプランを各学校で作成し、体力向上の取り組みを推進する。
研究開発学校指定事業	文部科学省の教育研究開発事業の趣旨をふまえて、委託を受け、研究開発校として発達の段階に応じた教育課程の編成、実施及び指導方法について研究を行う。
いじめ問題等対策推進事業	いじめ防止対策推進法に則り、いじめの未然防止及びいじめ発生時の対策のための行政としての責務を遂行する。
放課後児童クラブ地域連携充実事業	放課後に子どもたちの適切なあそびや生活の場を確保し、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。
小学校施設整備事業	吉川小学校及び光風台小学校の校舎のトイレを一部洋式化に改修する。
東能勢小学校南館屋根防水事業	東能勢小学校南館の屋上防水工事を実施する
小学校教育振興事業	普通教室にモニター及びタブレット、画像転送装置を整備する。
中学校施設整備事業	東能勢中学校及び吉川中学校の普通教室に空調設備を設置する。
中学校給食充実事業	中学校給食調理業務委託において、一部、従来の献立に代えて、より充実した献立を提供する。
中学校教育振興事業	普通教室にモニター及びタブレット、画像転送装置を整備する。